

## 『ホームページを活かしているのはひと握りの企業！』

現在ヤフーやグーグルなどで検索して抽出されるホームページの数は約500億サイトを超過しておりますが、実際には10%程度しか活用できていないと言われております。

### では、『ホームページ』を活かすためには？

#### 制作前

1. まず「目的」を明確に。  
…何のために『ホームページ』を制作するのか？
2. 誰に向けて「情報」を発信するのか。  
…企業？個人？企業ならば「地域」の、「どんな業種」の、「どんなものを探している人？」
3. 競合他社を調査し、自社の強みを明確に。  
(差別化)
4. 対象顧客がどのようなキーワードで検索するのかを検証。(SEM対策)
5. 狙ったキーワードで検索エンジン上位表示する。  
(SEO対策) Yahoo検索で最低限20位以内に入らなければ話になりません。

#### 制作後

6. TOPページを見て3秒以内に、インパクトを与える。
7. TOPページから3クリック以内に目的に到達するように導線を張る。
8. アクセス解析をし、アクセス数、滞在時間、離脱率、コンバージョン率、ページ毎分析をし、毎月改善を。
9. コンバージョン率(成約率又は目的達成率)が1%を超えてきたら、費用対効果を試算し、リスティング広告を出していきます。
10. 集客(アクセス数増加)⇒参客(メール会員獲得)⇒接客(ホームページ上での情報提供やメルマガ配信)⇒増客(ファンを増やす)  
物販や会員制のコンテンツを提供する場合はこれが運営の基本的なサイクルになります。

何も知らずに単に『ホームページ』を制作しても意味がありません。

まず『ホームページ』を活用している企業はどのようにしているのか、を知っていたら、その中からそれぞれの企業に合ったご予算や目的にあわせてコンサルティングさせていただきます。  
<http://www.e-webseisaku.com/>

株式会社オールマネージ  
WEBデザイングループ  
マネージャー 西濱千絵



## 『イラストパワーで企業を明るく元気に!』 介護イラスト編

介護が必要な身内のために、仕事を辞めて介護を担うケースが大変多くなっているそうです。

公的な特別養護老人ホームは全国に6,000施設。全国の公的の老人ホームへの入所施設待機者は約38万人。(2009年6月読売新聞より) 絶対数が足りない事はあきらかです。施設への入所が無理な場合は、ショートステイ、デイサービス、訪問看護、ヘルパー等のサービスを使って居宅介護を進める他はなく、その中心は家族が担っているのが現状です。  
(配偶者や子ども、又、こどもの配偶者で介護するケースが大半)

### 〈 誰が誰を介護しているかの実情 〉

老老介護・高齢者を高齢者が介護する。  
在宅で介護者が80歳以上の割合は約一割。  
認知介護・認知症の介護者が、認知症の要介護者を介護する。  
別居介護・別居で遠いながら介護する。遠距離介護も含まれる。  
施設介護・入所してプロから介護を受ける。  
シングル介護・非婚の子どもが親を介護する。  
息子介護、男性の介護者が増えているのも昨今の特徴。

<http://www.hifumiyo.com/gunjoaen/>

介護は情報が命です。予備知識のあるなしで、いざ!という時、余裕をもって対応が出来ます。介護の現状、サービスはある程度知っておく事をお薦めします。

### ~介護の予備知識が知らず知らず学べる著書・共著~



「ばあちゃん  
ドタバタ介護  
格闘記」  
島島社出版



「介護器具・  
手作り改造  
レシピ集」  
IMS出版

私は、介護関係も得意とするイラストレーターです。上記著書にも介護福祉器具の使い方を、分かりやすく描いておりますので、一度ご覧下さい。そんなイラストのご要望ございましたら、是非ご依頼下さい。

お問い合わせは、  
株式会社ちゃお企画プロデュース  
担当: イラストレーター 群青亜鉛 まで  
TEL: 06-6281-0303  
FAX: 06-6282-0260  
Mail: gunjoaen@hello.email.ne.jp

